

④ 扶助費

扶助費の経常収支比率は、類似団体平均に比べ過去より高いレベルで推移しています。主な要因の一つとして生活保護費の占める割合が高いことが挙げられます。これは、当市の状況として、病院等の施設が比較的多いことが影響していると推察しています。

⑦ 公債費

公債費の経常収支比率は、類似団体平均を0.4%下回っているものの、近年徐々に上昇しています。今後は、大型再開発事業に伴う地方債の借り入れや、小中学校の耐震補強事業の元利償還が開始されることで若干の指数の上昇が予測されますが、新規発行地方債の抑制とともに、機会をとらえて過去の高利率地方債の借り換えを行い、償還額の平準化および実質公債費比率上昇の緩和に努めます。

主要な項目②・③・④・⑦についての説明を掲載します。各項目の推移等詳細は、市のホームページの最新情報からご覧いただけます。

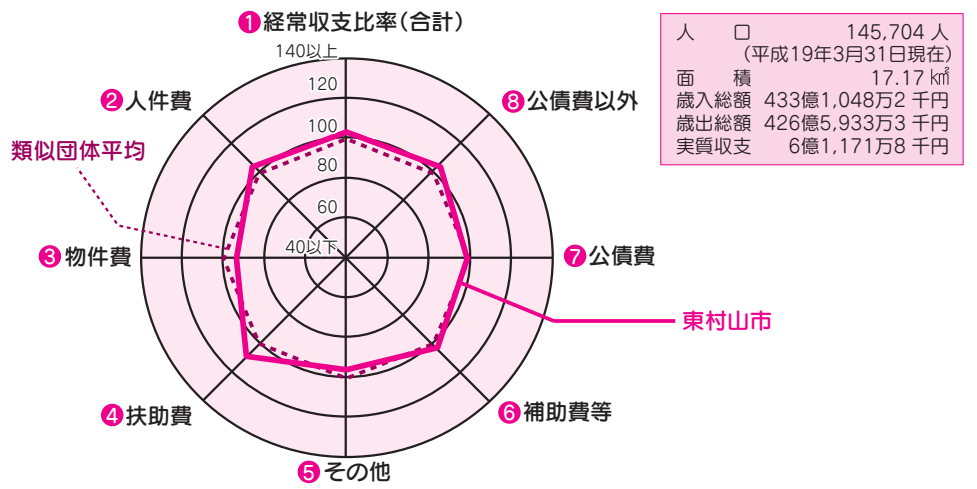
② 人件費

ラスパイレス指数での職員給与や人口1人当たりの人件費は、類似団体平均より低くなっていますが、人件費の経常収支比率は、逆に高くなっています。これは、人口に比べて歳入経常一般財源等が少ないことによる影響だと分析しています。

③ 物件費

物件費に含まれる主なものとして、賃金・旅費・需用費・委託料などがあります。物件費の経常収支比率が類似団体平均に比べ2.0%低いのは、当市の歳出抑制策に伴う経常経費の圧縮を行った結果であるととらえています。

歳出比較分析表 (経常支出比率の分析)



歳出比較分析表 (経常収支比率の分析) の見方  
類似団体の平均値を100としたときの東村山市の指標を表しています。当市の八角形が類似団体の八角形の内側にあるほど、歳出抑制等により財政構造に弾力性があることを示します。

平成19年度の財政状況

市では、市民の皆さんが納めた税金などがどのように使われているかなど、市の財政状況について知っていただくため、各会計の執行状況などを年2回公表しています。今回は、平成19年度末の財政状況をお知らせします。 ※お知らせする金額等は、平成20年3月31日現在のものではなく決算額ではありません。決算額は、現金の未収・未払いを整理するための「出納整理期間 (平成20年4月1日～5月31日)」後に確定し、市報12月15日号でお知らせします。 ※数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、内訳合計が合計額と一致しない場合があります。

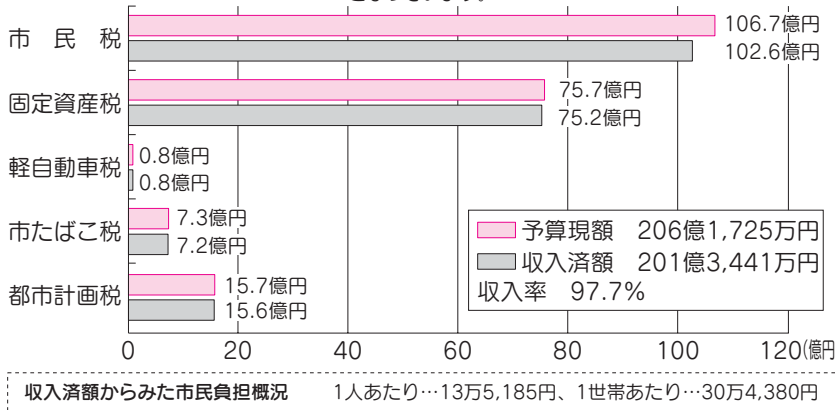
問い合わせ 財務部財政課

市有財産の状況

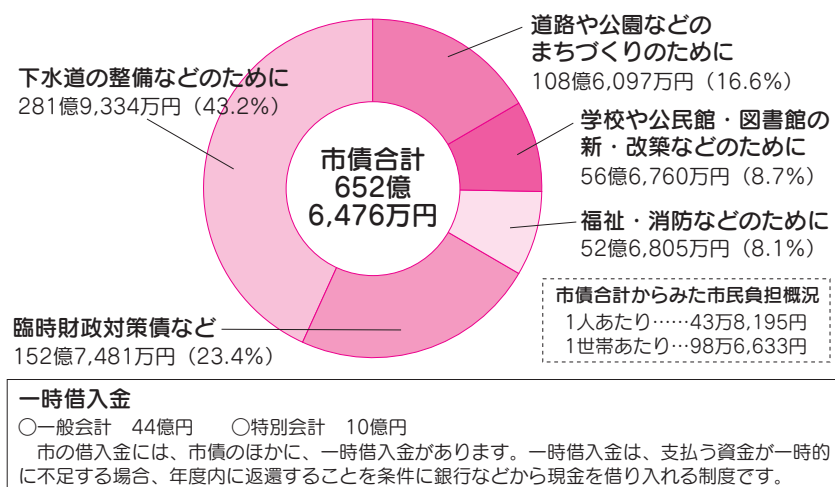
土地	67万1,530.63㎡
建物	24万4,431.03㎡
※ 特定目的基金	31億5,087万円
財政調整基金	6億7,661万円
減債基金	1,819万円
職員退職手当基金	2億6,144万円
公共施設整備基金	5億2,781万円
西武園競輪場周辺対策整備基金	7,683万円
ふるさと創生基金	1億5,825万円
国際交流及び姉妹都市交流基金	2億1,441万円
長寿社会対策基金	1億774万円
アメニティ基金	5億7,126万円
秋水園周辺対策施設整備基金	6万円
緑地保全基金	5億3,825万円

※特定目的基金…特定の目的のために積み立てている市の貯金

市税収入の状況 (内訳別) ※市の主な収入である「市民税」の収入率は96.2% (現年のみ) となっています。

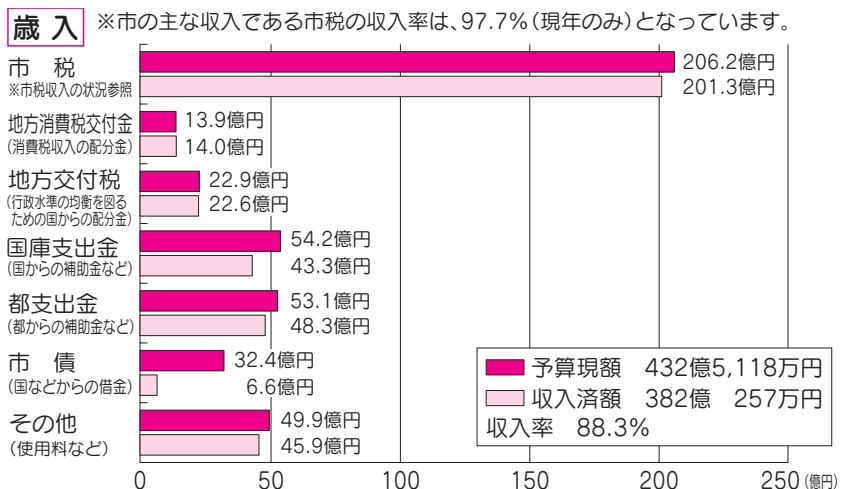


市債 (市の借金) の状況

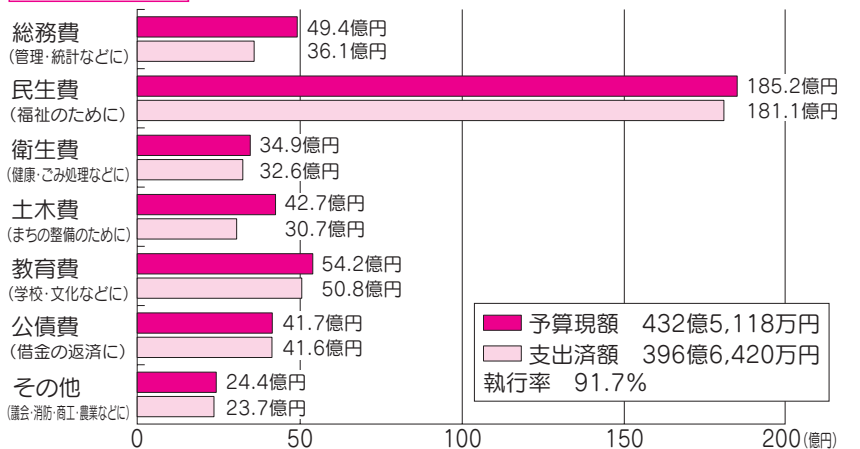


一般会計

予算総額 432億5,117万6千円  
当初予算は425億8,606万3千円でしたが、3回の補正を行いました。



歳出 (目的別) ※歳出予算の42.8%を民生費が占めています。



特別会計

特別会計の執行状況

会計別	予算現額	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	146億7,959万円	129億6,146万円	88.3%	133億89万円	90.6%
老人保健医療	95億4,714万円	85億3,288万円	89.4%	85億7,143万円	89.8%
介護保険	70億7,274万円	67億2,223万円	94.8%	63億9,732万円	90.5%
下水道	60億9,476万円	49億8,956万円	81.9%	58億6,435万円	96.2%
受託水道	7億5,905万円	7億5,271万円	99.2%	7億2,653万円	95.7%
合計	381億5,328万円	339億3,883万円	89.0%	348億6,052万円	91.4%

特別会計…特定の事業・資金などについて、特別の必要がある場合 (法律に定めるものを含む)、一般会計から区分してその収支を個別に経理する会計をいいます。